



# お子さんの予防接種は 受けましたか？

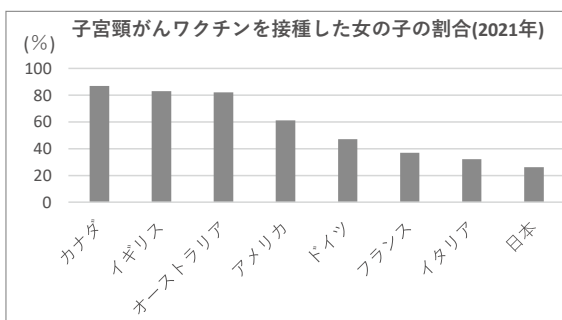
## ◇子宮頸がん予防は

### 小学校6年生から

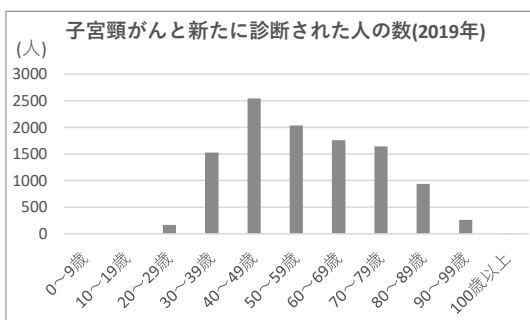
ほとんどの予防接種は3～4歳ごろまでに行いますが、いくつかのワクチンは小学校就学前の年度以降に接種するものもあります。定められた期間をすぎると任意接種となり、費用などが本人負担となります。該当するお子さんがいる人は、接種が間に合うよう早めに予定を立てましょう。

**MR2期**…小学校就学前の年度(幼稚園・保育園の年長さんに相当)  
**日本脳炎第2期**…9～12歳  
**4種混合第2期**(ジフテリアと破傷風の2種混合ワクチン)…11～12歳  
**子宮頸がん予防ワクチン**…小学校6年生以上高校1年生相当の年齢の女子

日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は子宮頸がんによるものです。子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられていて、一度でも性的接触の経験があれば、だれでも感染する可能性があります。子宮頸がん予防には「ワクチン接種」と「子宮頸がん検診」の2つが大切です。世界保健機構(WHO)は、HPVワクチンの接種を推奨しており、2022年12月時点で、世界120か国以上で公的なHPVワクチンの予防接種が行われています。子宮頸がんは、予防手段のあるがんです。先進国での接種率は最下位でしたが、令和4年からキャッチアップ接種が始まり、日本での接種率は徐々に上昇しています。



出典: WHO/UNICEF Joint Reporting Form on Immunization  
出典: 厚生労働省「定期の予防接種実施者数」



出典: 国立がん研究センター情報サービス「がん統計」(全国がん登録) 全国がん罹患データ(2016年～2019年)

## 新宮町こどもみらいサポートアプリ「ぐーまっち！」で予防接種のスケジュール管理ができます

- ・お子さんの生年月日を登録すると、いつ何を接種したらよいのか自動でスケジュールを作成できます
- ・主治医の先生と次の予防接種日を決めた場合は、手動で接種日の変更が可能です
- ・接種日を知らせるメールが届きますぜひご活用ください。

「ぐーまっち！」のダウンロードはこちら



▲ App Store



▲ Google Play

## 子宮頸がん予防ワクチン定期接種の機会を逃した人へ

あらためて接種の機会を無料で提供しています。

### 【対象】

平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性

※平成19年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた人は、通常の接種対象期限(高校1年相当)から延長されます。

### 【接種可能な時期】

令和7年3月31日まで



▲詳しい情報は  
こちら

■問い合わせ先  
しんぐう子育てサポートセンター  
(シーオーレ新宮子育て支援課)  
☎ 963-12995(直)